

## 常務（執行）理事会内容

開催日時	平成 25 年 1 月 26 日 15:30~17:30	開催場所	和医大附属病院 中央検査部控室
会議種別	平成 24 年度 第 3 回和臨技常務理事会	議長	
		書記	田中
出席者	6 名（玉置、竹中、畑、木下、大石、田中）		
欠席者	なし	オブザーバー	
次 第 (議題)	<p>次年度の各部事業計画案と予算案について審議した。</p> <p>まず、大石経理部長から今年度の（1月26日現在）執行決算額の進捗状況と、各部提出予算案よりの次年度予算案の説明があった。</p> <p>➤ 今年度進捗状況から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日臨技推進事業助成金の支給が遅く（1月26日現在35万）、年度始まりの運転資金に余裕が無いため、事業開始が厳しかった。</li> <li>◇ 精度管理事業の試料代金が未払い（待って頂いているのが現状）</li> <li>◇ 次年度向けに11.5万の繰越金が見込まれるが、次年度初頭の運転資金としては非常に心もとない</li> </ul> <p>➤ 次年度予算案（合算）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 収入は、会費以外はすべて見込収入であり、確約されたものではない。</li> <li>◇ 日臨技推進事業助成金は、今年度と同じく入金が遅いと思われる。</li> <li>◇ 日臨技推進事業助成金（100万）、医学振興助成金の継続性が不透明である。</li> <li>◇ 次年度は一度、予算緊縮を行い、次々年度（26年度）に向けての財政体力をつけたい。</li> </ul> <p>という意向により、各部から提出された予算案を検証する事になった。</p> <p>➤ 公益事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ <b>ピンクリボン：事業計画は承認 予算は圧縮</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀北 紀三井寺での活動</li> <li>・南紀 熊野本宮大社での活動</li> </ul> <p>今まではピンクリボンイベントへのお手伝い程度で、何一つ技師会活動としての、検査技師としてのアピール等に乏しい状態であった。次年度はブースを設置し、模型での触診体験やパンフレットの配布、客観的に女性だけでなく男性にも自己検診・定期検診の啓発を行う事が本来の公益事業であるとの事。</p> <p>人の配置を考え、実務委員を減らす（運営に携わる人員配置を技師会メインで行うのではなく、ピンクリボン側からも要請する。50:50に持っていく）。事業計画は承認、人件費等をもう少し緊縮し、1事業5万程度の予算で再考を促した。</p> </li> <li>◇ <b>HIV 事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年と父兄への啓発活動成：<b>事業計画は承認 予算は圧縮</b></li> </ul> <p>人件費について、日当規約に該当しない為、ボランティアで協力を求め、人件費を緊縮するように促す。</p> </li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HIV/STD 啓発指導者育成事業：事業計画は承認。予算は圧縮 練習用？試薬の使用を再考してもらい、2 万前後で抑えてもらう。</li> <li>• 和大 VCT：事業計画は承認 予算は圧縮 消耗備品代・試薬代を県側で用意して頂く（もしくは折半で交渉）。パンフレット配布や VCT 呼び込みスタッフを県にお願いし、和臨技側は採血・検査・ミニレクチャーのみの運営とし、すみわけを行うように県と交渉し、人件費を緊縮するように促す。</li> <li>◇ 医療セミナー in わかやま：事業計画は承認 予算は圧縮 御坊市開催で計画。無料検査等がない講演会スタイルで実務委員を減らし人件費を緊縮。印刷代を緊縮できないか→無料地元紙の記事を活用し、県民への周知を行う。ポスター等の広告は必須だが出来るだけ予算緊縮に行う等、総計 15 万程度で行う予算案の再考を促した。</li> </ul> <p>➤ 学術部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 学術部研究班勉強会：事業計画案承認 予算案承認 ただし、年 3 回以上の勉強会を企画するよう、また予算を使い切るくらい、積極的に勉強会を企画するように促す。ただし、計画的に節度を持って運営していくこととする。</li> <li>◇ 学術部合同研修会：事業計画案承認 予算案承認 今年度は春開催（事務局オリエン開催後の流れで）で企画。ただし、もう少し内容を見直し（症例数はそのまま、班割は少人数で 6 班位に分けて積極的に発言を促す等）、工夫を凝らした新鮮さを取り戻す。</li> <li>◇ 管理者研修：事業計画見送り 緊縮財政のため、今年度は見送り、次々年度に向けて準備する。</li> <li>◇ 精度管理事業：事業は承認 企画案・予算案ともに再考 第 2 回常務会にて決定した事項（経費緊縮のため常務会で決定された事業内容の見直し等）が見いだせない。約 32 万の試料代の内訳が分からない。精度管理事業を医学振興助成事業に組み込むことも考える。</li> <li>◇ 機関誌：事業承認、予算ほぼ承認（緊縮努力） A4 へのサイズ移行に伴う若干の経費増加が予想されるが、項数が減ることで相殺される事が予想される。発行部数の見直し等で更なる緊縮を促す。</li> </ul> <p>➤ 事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 事務局運営：事業計画承認 予算圧縮 総会議案書等について簡素化等で印刷費を圧縮する方向で再考。</li> <li>◇ 行事予定表：事業計画承認 予算承認</li> <li>◇ 和臨技会報：事業計画承認 予算圧縮 年 3 回の発行案を 2 回に減らし経費圧縮を促す</li> <li>◇ 和臨技ホームページ運営：事業計画承認 予算承認</li> </ul>
内容	
記録作成	氏名 田中規仁 提出 平成 25 年 2 月 4 日